ＰＲ０１－ＤＬＧ　形
ＰＲ０２－ＤＬＧ　形
ＰＲ０３－ＤＬＧ　形
プ　ロ　ー　ブ
取　扱　説　明　書

菊水電子工業株式会社

1. 概　要

菊水電子 PR01-DLG、 PR02-DLG 及び PR03-DLG形は、DLG 7000シリーズ ロジックアナライザ用プローブです。 本体から供給するスレッショールド電圧により、入力信号をデジタル化して本体に出力します。

2. 仕　様

項目		
入力チャンネル数		
PR01-DLG	8チャンネル	入力0～7チャンネル
PR02-DLG	8チャンネル	入力8～Fチャンネル
PR03-DLG	5チャンネル	データクォリファイア0～1チャンネル、シリアルデータ、外部クロック、外部クロッククォリファイア
入力インピーダンス	約 1MΩ　20pF 以下	
スレッショールド電圧	－6.3V ～ ＋6.3V　本体より供給	
入力信号電圧		
最大定格入力	±30V	
許容最大入力	±60V DC	
重　量	約 300 g	プローブチップ、プローブ、接続リード線含む
外形寸法	全長約 1700 mm	プローブチップ、接続リード線を除く
環　境		
使用温度、湿度範囲	5℃ ～ 35℃　85%以下	
最大動作温度、湿度範囲	0℃ ～ 40℃　95%以下	

付 属 品

（１） PR01-DLG、 PR02-DLG 形

プローブチップ(灰)	8	
プローブチップ(黒)	2	
接続リード線(白)	8	信号名マーカ付
接続リード線(黒)	2	

（２） PR03-DLG 形

プローブチップ(灰)	5	
プローブチップ(黒)	3	
接続リード線(白)	3	信号名マーカ付
接続リード線(黒)	1	
接続リード線(ツイスト)	2組	信号名マーカ付

本書に記載なき仕様は DLG7000 シリーズの本体取扱説明書を参照して下さい。

3．　使用前の準備

3．1　着荷時のおねがい

本機は工場を出荷する前に、機械的ならびに電気的に十分な試験検査を受け、正常な動作を確認し、保証されています。

お手もとに届きしだい、輸送中に損傷を受けていないかを、お確かめ下さい。

なお、万一不都合がありましたら、お買求め先に ご連絡下さい。

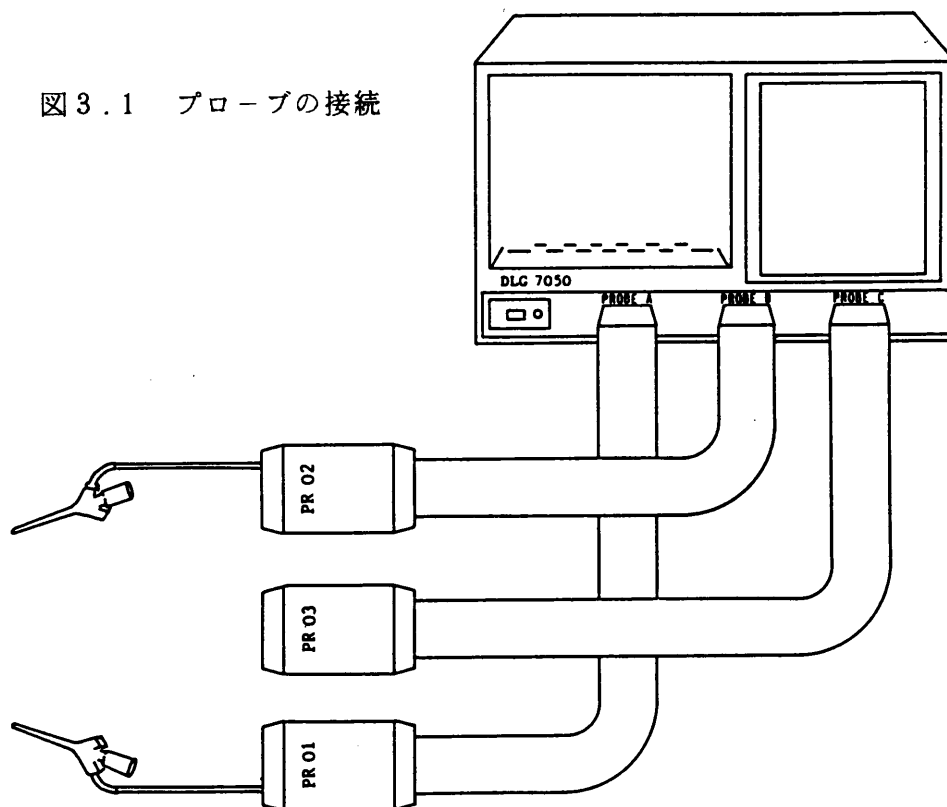
3．2　周囲温度・使用場所について

本機は多数の集積回路を使用しております。したがって回路の発熱を発散するために、通風孔をふさがないで下さい。また、本機の下部や近くに熱源となる装置類を配置したり、直射日光等の下での使用はさけて下さい。その他、特殊環境(ガス、粉じん、振動、薬品等)での使用は著しく寿命を短くしますので、ご注意下さい。

本機の仕様を満足する使用温度、湿度範囲は、5℃～35℃、85%以下です。

3．3　プローブと本体との接続

本体(DLG7000シリーズ)の PROBE Aコネクタに PR01-DLG のコネクタを、PROBE B に PR02-DLG を、PROBE Cコネクタに PR03-DLG を接続します。

図3．1　プローブの接続

3.4　プローブとプローブチップの接続

プローブとプローブチップの接続リード線は信号用が白色、GND 用が黒色で、プローブチップ側はレセプタクル、プローブ側はプラグが接続されています。このプラグは、信号用に比べ GND 用が大きくなっています。

各プローブには、接続すべき信号名(チャンネル)を明記したラベルが貼ってあります。

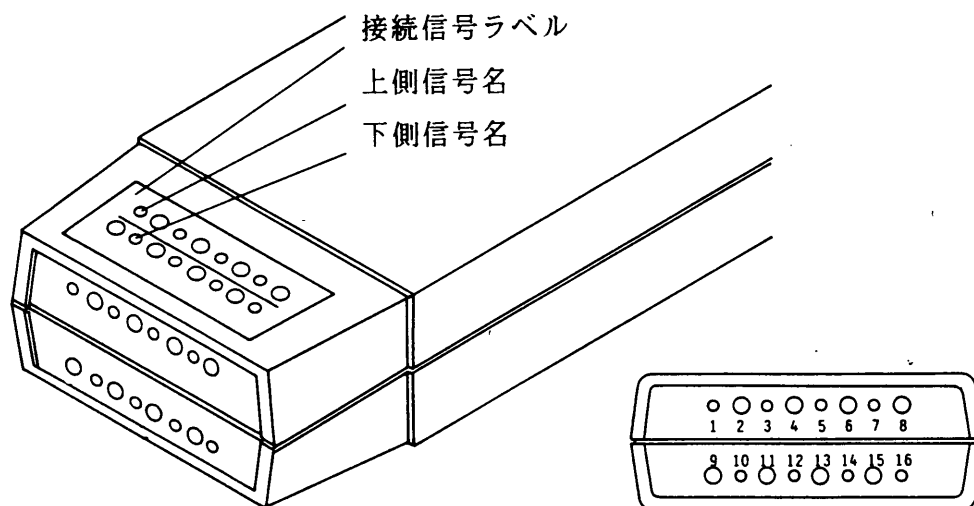
信号名に合わせ、接続リード線を差し込んで下さい。 接続リード線には、信号名のラベルが貼付されています。チャンネル0からF間では、"0"～"F"、外部クロック(E. CK)には"CK"、外部クロック・クォリファイア (CQ)、データクォリファイア(Q0及びQ1)には各々"Q0"、"Q1"と表示されています。
図3.2に接続チャンネルレセプタクル位置と信号名を示します。
使用に先だちロジックアナライザ本体の取扱説明書を お読み下さい。

	PR01	PR02	PR03		PR01	PR02	PR03
1	CH0	CH8	Q0	9	GND	GND	(GND)
2	(GND)	(GND)	(GND)	10	CH4	CHC	—
3	CH1	CH9	Q1	11	(GND)	(GND)	(GND)
4	(GND)	(GND)	(GND)	12	CH5	CHD	—
5	CH2	CHA	—	13	(GND)	(GND)	GND-CQ
6	(GND)	(GND)	(GND)	14	CH6	CHE	CQ
7	CH3	CHB	SER	15	(GND)	(GND)	GND-CK
8	GND	GND	GND	16	CH7	CHF	CK

図3.2　接続チャンネルレセプタクル位置と信号名